

ラグビーワールドカップ2019 シンポジウム

2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの開催地が2015年3月に決定します。この開催候補地には仙台市も立候補していますが、オリンピック、サッカーワールドカップとともに世界3大スポーツイベントのひとつであるにもかかわらず、その認知度や盛り上がりがいまひとつ不足しています。今回のシンポジウムは、「仙台市でラグビーワールドカップを開催する意義」をテーマに、このラグビーワールドカップがどのような大会なのか、これまでのワールドカップで選手と監督を経験された向井昭吾氏に基調講演をお願いし、その国際的な影響力、地域の活性化、アジア圏で初めて日本で開催される意義等を話していただきます。その後のパネルディスカッションでは、様々な立場の方々をパネリストとしてお招きし、東日本大震災後の被災地東北、仙台で開催することの意義を、あらゆる角度から話し合います。当協会としては、このラグビーワールドカップを是非、仙台で開催したいと強く希望しており、そのための取り組みとして、多くの方々に広くこの大会の情報を発信し続け、大会開催へのご理解とご協力を得るため、本シンポジウムを開催いたします。

仙台市でラグビーワールドカップ2019を開催する意義について

入場無料 120名様 (先着順)

日時：平成27年2月21日(土) 15時30分～18時00分

場所：TKP仙台カンファレンスセンター
仙台市青葉区花京院1-2-3 (ソラガーデンオフィス内)

■基調講演

向井昭吾氏 (コカ・コーラレッドスパークスGM)

■ディスカッション

アンドリュー・マコーミック氏 (元日本代表・関西学院大ラグビー部ヘッドコーチ)

大友信彦氏 (スポーツライター)

ショーン・ダイア氏 (仙台ニュージーランド協会副会長)

※出演者が変更となる場合がございます

■コーディネーター

村上晃一氏 (ラグビージャーナリスト)

お申込みはこちら

「こくちーず (告知's)」

<http://kokucheese.com/event/index/261507/>

携帯電話から
申し込みができます



QRコードを読み取ってください

主催：宮城県ラグビーフットボール協会

お問い合わせ先 090-9955-2179

